

登山者が見た利尻富士の姿

日本百名山のうち最も北に位置する山、秀峰・利尻富士。その頂上から見渡せる360度を海に囲まれた美しい景色が年間約1万人の登山客を惹き付けています。今年8月30日、この利尻富士の登山路のうち上級者向けと言われる沓形(くつがた)ルートを、当課の職員が登りました。出発から登頂までの写真を時系列に載せましたので、その行程を追体験してみてください。



①am6:15 沓形ルートは5合目まで車で登れます。6合目付近から山頂を見上げました。



②am7:03 7合目「見晴台」に着いたところで、礼文島がはっきり見渡せました。



③am7:56 らくだのコブのような稜線が続いています。



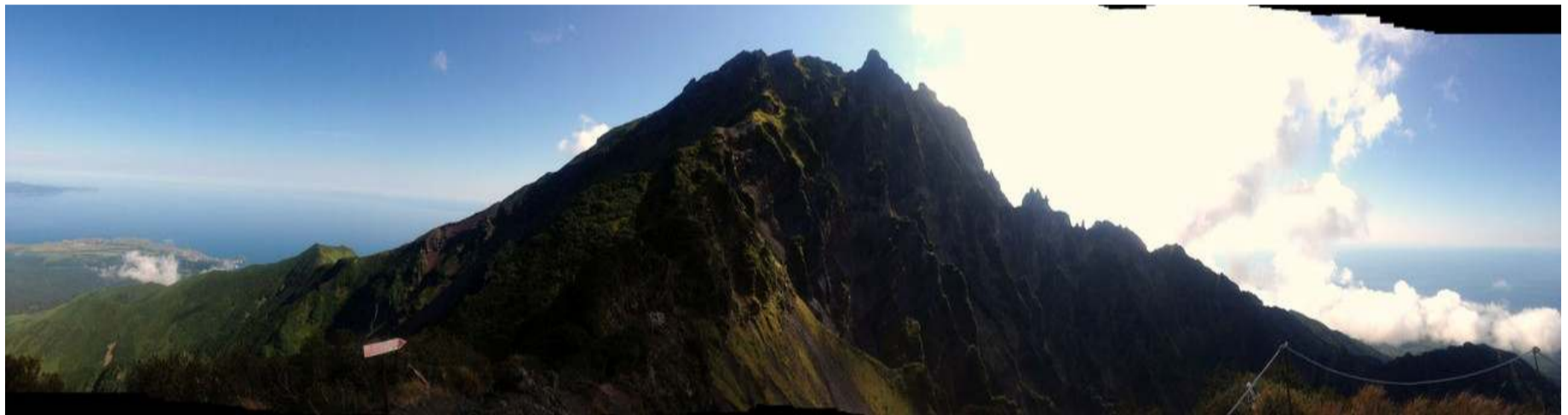
④am8:56 「夜明しの坂」を過ぎてから、見上げた光景です。



⑤am8:56 ④の位置から振り返って見ると、沓形の街が小さく見えます。



⑥am8:58 9合目「三眺山」にたどり着きました。



⑦am8:59 少し歩くと、⑥で見た姿がより一層大きく眼前に広がりました。



⑧am9:04 「背負子投げの難所」といわれる場所に出ました。どのような難所が待ち構えているのでしょうか？



⑨am9:25 「落石滑落」の赤い文字が目に入りました。



⑩am9:26 「落石滑落」の危険があるのは、「親不知(おやしらず)子不知(こしらず)」という難所でした。



⑪am9:26 こんなに急斜面です！
これなら、落石も起こるはずですよ。



⑫am9:54 やや平らな場所に出ました。
ここは鴛泊(おしどまり)からの登山ルート
と沓形ルートが合流する箇所です。



⑬am10:02 山頂が目の前に迫ってきました。



⑭am10:12 遂に登頂！ 左側の小さな社(やしろ)の近くには登山客が沢山集まっていました。



⑮am10:12 北海道本土:稚内方面を見渡します。



⑯am10:12 険しい登山道として知られていた幻の鬼脇(おにわき)
ルートを見下ろします。現在は一部崩落箇所があるため、一般登山者
が7合目以上を利用することは禁止されているようです。



⑰am11:08 山頂でしばし休息を取った後、また沓形ルート
を引き返しました。



⑱8月31日 am8:32 翌日の朝、利尻富士町南浜(みなみはま)から
見上げた利尻富士の姿。
今回は天気にも恵まれ、素晴らしい登山を体験することができました。